

おおず



ほら、きれいに咲いているよ

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

平小学校 4年 (現: 平小学校 5年)

松本 香^か 鈴^{りん} さん



私は、水泳やマラソン、ソフトボール、バドミントンなどのスポーツが大好きです。

特に水泳は一生懸命練習に励んでいて、初めて出場した昨年の市内小学校水泳競技大会では、25メートルと50メートルバタフライで、それぞれ6位入賞することができました。先生からもバタフライが上手だと褒められ、とてもうれしかったです。将来は水泳の選手になれるよう、これからも頑張りたいです。

また、2月に行われた市健康マラソン大会では、4年生女子の部で2位に終わりました。来年は、校内マラソン大会とともに、学年1位を取りたいです。

習字や絵を描くことも得意なので、スポーツだけでなく、芸術の分野でも頑張っていきたいと思います。

5月の納税など 納期限は 6月1日(月)です。

税 別	5月	6月	7月	8月
市 県 民 税		1期		2期
固 定 資 産 税			2期	
軽 自 動 車 税	全期			
国 民 健 康 保 険 税			1期	2期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	46,002人 (-198)	件数 48件(37件)
男	21,902人 (-88)	死者 2人(0人)
女	24,100人 (-110)	負傷者 59人(42人)
世帯数	20,260世帯(2)	

(2015年3月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	ありがとう ずっと忘れない(特集)
6ページ～	平成27年度 大洲市職員人事異動
8ページ～	シリーズ
11ページ～	まちのわだい
12ページ	おおずニュース
14ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (肱川流域会議 水中めがね)

今月の表紙

picture 写真



4月9日(木)、フラワーパークおおずを取材しました。

3月の寒さで開花が例年よりも1週間ほど遅れましたが、赤・白・桃・黄・紫色のおよそ56,000本のチューリップが見ごろを迎えていました。

きれいに咲いたチューリップを見に来た多くの人は、写真撮影や散策などを楽しんでいました。



上須戒小学校は、明治7年（1874）に創立され、これまでに3000人以上の児童が、この学び舎を卒業していきました。

自然豊かな環境のなか、地域とともにあり続けた小学校は、子どもたちのより良い教育条件、教育環境を整備するため、「大洲市小学校統廃合計画」に基づき、平成26年度末をもって閉校することになりました。

閉校記念式典が3月22日(日)に行われ、全校児童や保護者、教職員、住民、関係者など約200人が見守るなか、141年の歴史に幕を閉じました。

在校生の子どもたちは、4月から統合先の喜多小学校に通い、新たな歴史を刻みます。



ありがとう

ずっと忘れない

(特集)



59年の歴史のなかで、子どもたちは美しい自然に囲まれ、地域のみなさんに「地域の宝」であると、大切に温かく見守られてきました。

青空が広がり、桜がほころび始めた3月27日(金)、閉所式が行われ、地元住民や歴代所長を含め約60人が別れを惜しまました。式に出席した保護者や卒業生らは、昔を懐かしみ、最後の思い出を胸に刻んでいました。

子どもたちは、思い出が詰まった場所を後にし、4月からは、たくさんの友達が待っている喜多保育所へ通うことになっています。



上須戒保育所は、地域における乳幼児保育の場として、昭和30年（1955）に創立されました。

上須戒小学校

「正しく やさしく たくましく 141年の歴史に幕」



閉校記念式典では、清水市長が「地域のみなさんに温かく守り育てられた上須戒小学校が、大洲の地にあったことを誇りに思う。今日までご支援いただいた全てのみなさんに、改めて深く感謝を申し上げる」と述べました。

その後、全児童12人が思い出を振り返りながら、母校と地域への感謝とお別れの言葉を発表しました。

式典終了後には、記念碑の除幕式と記念撮影が行われました。



上須戒小学校
校長

藤原 郁仁さん

保護者と地域のみなさんに支えられた素晴らしい学校で学ぶことができた児童は、幸せであったと思います。閉校は大変寂しいですが、終わることは何かの始まりです。素直でたくましい上須戒の子どもたちらしく、新たなスタートを切ってほしいと願っています。



上須戒小学校
5年生

宮尾 菜々美さん

私にとって一番の思い出は、地域全体で行う運動会です。上須戒小学校が無くなるのは寂しいですが、新しい学校で友達をたくさんつくり、一緒に遊びたいです。

朝夕に仰ぎ見る
出石の山の たくましく
雄々しき姿 上須戒
僕等の生まれし ふるさとよ

上須戒保育所

「地域に見守られて59年 笑顔でお別れ」



閉所式で、今までの歴史を振り返るDVDが上映されると、懐かしい映像に参加者からはすすり泣く声が聞こえました。また、子どもたちが、家族や地域の人、先生、友達に対して、それぞれありがとうの言葉を元氣よく発表した後、「ありがとう さようなら」を全員で歌いました。

式終了後には、桜の記念植樹や記念撮影のほか、子どもたちから保育所へ、感謝をこめた卒園証書授与が行われました。



上須戒保育所
所長

清中 祥子さん

閉所は残念でなりませんが、幼い子どもたちの心のかかきと、上須戒保育所での温かい思い出が生き続くと信じています。これからは、たくさんの方々と仲よく遊び、一人ひとり個性あふれる大きな花を咲かせてくれることを楽しみにしています。



上須戒保育所

高橋 百愛さん

今まで、上須戒保育所のみならずと遊べて楽しかったです。これからたくさん友達をつくって、将来はドレス屋さんになりたいです。

あさかぜ こかぜ さくらさくらと
このはを わけて ふいています
そらそら ランランラン
ほいくえん
ここは たのしい ほいくえん

地域とともに

上須戒には多くの年間行事があります。その一つ一つに、子どもたちの姿は欠かせないものでありました。

これまで、住民のみさんの多くの支援もあり、地域が一体となって健全育成を目指した活動を行ってきました。



館長 館長 館長
上須戒公民館 須戒小学校 須戒小学校
準備委員 委員 委員
河邊 宗義 さん

今回の閉校・閉所の決定は、地域にとっても私にとっても、まさに断腸の思いでした。地域住民からは、心のよりどころが無くなるのは悲しい、という声も多くあります。

しかし、子どもたちの豊かな人格の形成や成長を願えば、私たちがプラス思考で将来を見つめるべきではないでしょうか。子どもたちとかかわりのある伝統行事については、何とか継続できるように、多方面に働き掛ける必要があります。今こそまとまりのある地域性を生かし、上須戒地域づくりの祖である、梶谷永五郎先生の「汝の郷土を開発する者は汝自らなり」の教えを実践する時だと感じています。

子どもたちには、多くの友人と切磋琢磨し、成長してほしいと願うばかりです。また、上須戒に住んで良かった、これからも住みたいと思ってもらえるような、活力ある地域づくりに取り組んでいきたいと思っています。

新たな歴史を刻む

上須戒地域コミュニティを支える拠点のひとつとして、住民とともにその歴史を重ねてきた小学校と保育所が無くなることは、地域にとってつらく、重大な決断であったはずですが。

閉校式・閉所式の各会場では、涙を流す人も多く、いかに地域に愛され続けてきた学び舎であったかを物語っていました。

子どもたちが、小学校・保育所でこれまでに培った教訓や精神は、今後新しい場所で受け継がれていきます。また地域にとっても、施設跡地利用や、子どもたちも含めた地域イベントなど、これからも伝統を築いていくこととなります。

さまざまな人の思いをつないで、新しい上須戒の歴史がスタートします。